

資 料

フルードパワーシステム特別研修会*

佐藤 恭一**

* 平成 27 年 6 月 17 日原稿受付

** 横浜国立大学大学院工学研究院, 〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-5

1. はじめに

フルードパワーシステム特別研修会（以下、研修会）は、フルードパワーシステムおよび周辺関連分野の知見の修得を通して参加委員の研鑽の場を提供することを目的としており、新技術や研究の動向、課題提起などについて、第一線の講師による講演と参加者の活発な技術討議が行えるセミナー形式の会合を年間 5～6 回開催している。回によっては、セミナーに代えて、参加者の関心である企業、研究機関、施設などの見学を企画し、参加委員の見聞を広める活動も行っている。研修会の発足は、当学会が前身の日本油空圧学会であった 1990 年 7 月である。ちなみに、発足時の名称はフルードパワーシステム特別研修会であったが、現学会名とほぼ同じ名称を先行して取り入れていたことは興味深い。

2. 特別研修会の活動紹介

当研修会は、一期 2 年の単位で、期と開催回数を重ね、2015 年 5 月 14 日に第 123 回研修会を開催するに至り、当緑陰特集号が公開される前の 7 月に第 124 回が開催される予定である。研修会では、参加委員は懇談を通して親交が深まり、産学や企業間の垣根を低くして集中した意見交換ができるので、単なる情報収集の機会ではなく、フルードパワーに関わる人の交流としても有意義な会となっている。委員長は横浜国立大学 佐藤恭一、幹事は元学会事務局長 斉藤賢治が担当し、研修会参加者は年度によって変動があるが、2015 年 6 月現在、企業側委員、大学側委員あわせて 14 名である。最近の 5 回の研修会（第 119 回～第 123 回）のメインテーマを紹介すると、第 119 回「鉄道車両用電機品－製造事業所見学－」（見学）、第 120 回「空気圧駆動を用いた手術支援ロボットシステム」（講演と見学）、第 121 回「トンネル掘進機」（講演と見学）、第 122 回「高エネルギー加速器研究機構見学」（講演と見学）、第 123 回「サイボーグ技術、マッスルスーツ、空気圧アクチュエータ」（講演）である。たとえば、直近の第 123 回では、この研修会メインテーマのもと、大学等の研究者を講師に招き「サイボーグ技術とその福祉応用～筋電義手の話を中心に」、「人の活動を支援する機械システム（空気圧人工筋肉の応用）」、「薄肉金属ペローズの空気圧アクチュエータ応用」の 3 講演を実施し、大変活発な議論を通して有用な知見を得ることができた。

3. おわりに

今後も毎回魅力ある研修会テーマを企画していく。当研修会の活動にご関心を持っていただければ、委員長または学会事務局にご一報いただき、ぜひ、委員としての参加をご検討いただきたい。

著者紹介



さとう やすかず

佐藤 恭一君

1992 年横浜国立大学大学院工学研究科博士課程修了。同大学講師、准教授を経て、2012 年同大大学院工学研究院教授、現在に至る。油圧動力の伝達、制御、メカトロニクスに関する研究に従事。日本フルードパワーシステム学会、日本機械学会、自動車技術会、IEEE などの会員。博士(工学)。

E-mail: yasukazu@ynu.ac.jp